

## **[成果情報名]極早生で食味・着色に優れるモモ新品種「ひめまるこ」の特性**

**[要約]** モモ新品種「ひめまるこ」は農研機構が育成した品種で、山梨県における収穫期が「ちよひめ」より11日程度早い極早生の白肉品種である。果実重180g程度と極早生品種としては大玉で、果実品質も優れる。花粉を有し、人工受粉の必要はない。また、無袋栽培が可能である。

**[担当]**山梨県果樹試験場・育種部・落葉果樹育種科・秋山友了

**[分類]**技術・参考

---

### **[背景・ねらい]**

「ひめまるこ」は農研機構果樹茶業研究部門が育成した品種で、令和元年8月に品種登録出願公表された。平成22年度(2010年度)からモモ第9回系統適応性検定試験において、「モモ筑波126号」として本県における特性を把握した。極早生の白肉モモの新品種として普及が期待されるので、品種特性を紹介する。

### **[成果の内容・特徴]**

1. 本品種は、「紅国見」×「ひめこなつ」の交雑実生から選抜された白肉のモモである。
2. 開花期は「ひめこなつ」、「ちよひめ」とほぼ同時期である。花粉を有し、人工受粉の必要はない(表1)。
3. 収穫期は果樹試験場(標高440m)において6月上中旬で、「ひめこなつ」より10日程度遅く、「ちよひめ」より11日程度早い(表1)。
4. 果実重は180g程度、糖度は14°Brix程度となる溶質のモモである。極早生品種としては大玉で食味が良い(表1)。
5. 果皮着色に優れ、裂果の発生もないため、無袋栽培が可能である。果実袋の有無による果実品質の差はほとんどないが、無袋栽培では果点が増加する傾向がある(表2、図1)。

### **[成果の活用上の留意点]**

1. 県内のモモ栽培地域で栽培が可能である。
2. 開花から収穫までの成熟日数が短いため、摘蕾・摘果の作業が遅れないようにする。
3. 収穫期が早く成熟したモモが周囲に少ないので鳥害には十分注意する。

### **[期待される効果]**

「ちよひめ」より収穫期の早い白肉の極早生品種として県内の早場産地を中心に導入が期待される。

[具体的データ]

表1 「ひめまるこ」の生育特性および果実特性

品種名	満開期	収穫始	成熟日数	果形	果肉色	果皮 <sup>z</sup> 着色	裂果 <sup>y</sup>	核割れ <sup>y</sup>	渋味 <sup>y</sup>	果実重 (g)	硬度 (kg)	糖度 (°Brix)
ひめまるこ	4/7	6/12	66	円	白	多	無	少	少	183	2.4	13.8
ひめこなつ	4/8	6/2	55	扁円	黄	- <sup>x</sup>	無	ヤ多	微	115	2.2	12.9
ちよひめ	4/9	6/23	75	円	白	ヤ多	無	微	微	249	2.4	13.0

調査年:2017~2019年

無袋栽培、反射マルチとしてタイベックシートを使用

z)果皮着色は6段階(無、少、ヤ少、中、ヤ多、多)で評価した

y)裂果、核割れ、渋味は7段階(無、微、少、ヤ少、中、ヤ多、多)で評価した

x)「ひめこなつ」にはタイベックシートを敷設しなかったため着色のデータ無し

表2 「ひめまるこ」の袋別果実品質

	果皮 <sup>z</sup> 着色	裂果 <sup>y</sup>	果実重 (g)	硬度 (kg)	糖度 (°Brix)	酸度 (pH)
無袋	多	無 <sup>x</sup>	189	2.3	14.0	5.0
二重袋	多	無	199	2.3	14.5	5.0
アポロ袋	多	無 <sup>x</sup>	185	2.1	14.3	5.0

調査年:2019年

反射マルチとしてタイベックシートを使用

z)果皮着色は6段階(無、少、ヤ少、中、ヤ多、多)で評価した

y)裂果は7段階(無、微、少、ヤ少、中、ヤ多、多)で評価した

x)果実に亀裂が入るような裂果は発生しないが、果点が多い年は微裂果が発生する。



図1 「ひめまるこ」の果実外観

[その他]

研究課題名: 系統適応性検定試験

予算区分: 国委

研究期間: 2010~2019 年度

研究担当者: 秋山友了、新谷勝広、竹腰 優、太田佳宏、三宅正則